

2023年度グッドデザイン賞受賞発表される

公益財団法人日本デザイン振興会(会長:内藤廣)は、主催事業であるグッドデザイン賞の2023年度受賞結果を10月5日(木)に発表しました。

今年度のグッドデザイン賞は、4月から応募受付を開始し、5,447件を対象に審査を実施した結果、1,548件の受賞が決定しました。この中には、独自性、提案性、審美性、完成度などの面において、特に優れた対象であり、これからの時代のモデルとなるデザ

インとして位置づけられる「グッドデザイン・ベスト100」の100件が含まれています。また、長年にわたって人々から支持され続けている商品などのデザインに贈られる「グッドデザイン・ロングライフデザイン賞」も6件の受賞が決定しました。

リビングアメニティ協会会員企業様の受賞製品の一部を紹介させていただきます。

ALIA会員企業受賞一覧

- | | | |
|--------------------------|----------------|----------------|
| ・AGC 株式会社 | ・大阪ガス株式会社 | ・クリナップ株式会社 |
| ・ケイミュー株式会社 | ・株式会社コロナ | ・三協立山株式会社 |
| ・タカラスタANDARD株式会社 | ・立川ブラインド工業株式会社 | ・トクラス株式会社 |
| ・トソー株式会社 | ・株式会社ノーリツ | ・株式会社ハーマン |
| ・パナソニックハウジングソリューションズ株式会社 | ・株式会社日立ビルシステム | ・株式会社フルタイムシステム |
| ・株式会社ブリヂストン | ・マックス株式会社 | ・三菱電機株式会社 |
| ・美和ロック株式会社 | ・株式会社 LIXIL | ・リンナイ株式会社 |

【企業名】株式会社 LIXIL

【製品名】室内建具 [NODEA INTERIOR GLASS R]

ベスト100

【概要】LIXIL最上位ブランドNODEAのインテリア引戸でハイエンドユーザー向け商品です。コロナ禍で在宅時間が増え、居住空間の質が求められています。日本の美意識に根ざし、空間をシームレスにつなぐことを目的にフレームは極細の12mm、幅約12m、高さ約3mの大開口を実現。開放的な空間の中に凛とした雰囲気を創り出します。

【デザイナー】株式会社 LIXIL LIXIL Housing Technology 商品開発・デザイン本部 デザインセンター インテリアグループ

【審査委員の評価】造作建具工事では成し得ない高いクオリティーを実現していると感じた。フレームにガラスを嵌め込むという発想から、ガラスの四周をフレームでカバーするという発想の転換が、フレームの最小化とガラス面の最大化に繋がっている。また、床壁天井との接点も、床壁には振れ止めや戸当たりなど一切排して扉前後の空間をシームレスに繋ぎ、また、天井面も金物は一切見せずに必要部分にスリットのみといった気配りで空間の質の向上に寄与している。今後、こういったインテリアプロダクトが住空間のスタンダードになればと願いたい。

【ウェブサイトでの紹介ページ】<https://www.nodea.com/collection/interior/glass-r/>



【企業名】リンナイ株式会社

ベスト100

【製品名】ガス衣類乾燥機 RDT-63/RDT-93シリーズ

【概要】パワフルな温風のスピーディな乾燥はそのままに、優しい送風やイオン運転コースを追加したガス衣類乾燥機。意匠のメインとなる扉と操作部を必要最小限の要素で構成。金属製ダイヤル式操作部はシンプルな操作性と質感にこだわった。上部操作・下部操作のバリエーションを展開しライフスタイルに合わせて設置方法を選ぶことが可能。設備機器としての堅牢な佇まいと空間に調和する簡素な上質感を追求し、長年愛用して頂けるデザインを目指した。音声案内を新たに追加し完了音や操作音の音質にもこだわり感覚的な上質感を追求した。アプリ登録することで、スマートフォンで運転状態やお知らせを受け取ることができる。

【審査委員の評価】最大の特徴は、製造上の制約に対する妥協を一切感じさせないソリッドでミニマルなデザインにある。しかし、見た目だけでなく、使い勝手や使い心地など、徹底したこだわりが随所に感じられる。ユーザーが長年にわたり大切に使用していきたくなるよう、各ディテールのクオリティと心配りが隅々まで行き届いており、無駄がなく美しいデザインとしての佇まいがある。使い手の暮らしとインテリアにコミュニケーションする誠実なプロダクトデザインの好例といえよう。

【ウェブサイトでの紹介ページ】<https://rinnai.jp/lp/kanta/>



【企業名】クリナップ株式会社

【製品名】バイブレーションダーク
(システムキッチンCENTRO用ワークトップ)

【概要】ステンレスシステムキッチン『CENTRO』にラインナップした新しいステンレスワークトップ。近年、人気上昇中のバイブレーション研磨柄のステンレスワークトップに、ダーク色のセラミック系特殊コーティング「ダーク美コート」を施しています。親水性特殊コーティング「美コート」は洗剤を使わず水拭きだけで清掃が可能で、指紋などの汚れもつきにくくする効果があります。今回、「美コート」を発色させる技術を開発し、清掃性や耐久性はそのままに、今までにない落ち着いた色味のある色味のステンレスワークトップを実現。2023年度グッドデザイン賞を受賞し、さらに、審査員一人ひとりが特に注目した「私の選んだ一品」にも選出されました。



【デザイナー】クリナップ株式会社 開発企画部デザイン課 竹内 祥馬
クリナップ研究所 深津 昌宏、高木 あずさ、野田 祥太、古川 悟

【審査委員の評価】審査委員：橋田 規子／プロダクトデザイナー

ステンレスカウンターは使う上でとても安心感があるが、リビングに面した場合に少々浮いてしまう。この製品は、繊細なバイブレーション模様と落ち着いた色が印象的。ステンレスカウンターでここまで高級感を出したものは初めてではないか。意匠性と共に耐久性と汚れに強いコーティング技術で、サステナブル素材であるステンレスの価値を上げている点も良い。

【ウェブサイトでの紹介ページ】<https://cleanup.jp/select/development/article-222/>

【企業名】ケイミュー株式会社

【製品名】KMEW耐火シート

【概要】KMEW耐火シートは窯業系サイディングの耐火構造用シート建材です。本製品を用いることで、省施工で安全な外壁1時間耐火構造を提供することができます。わずか0.7mm厚のシートが火災時の熱により発泡、熱の伝達を抑制します。建築現場においては、置き場スペースの極小化、廃材量の削減、施工性の向上により工期短縮に貢献します。

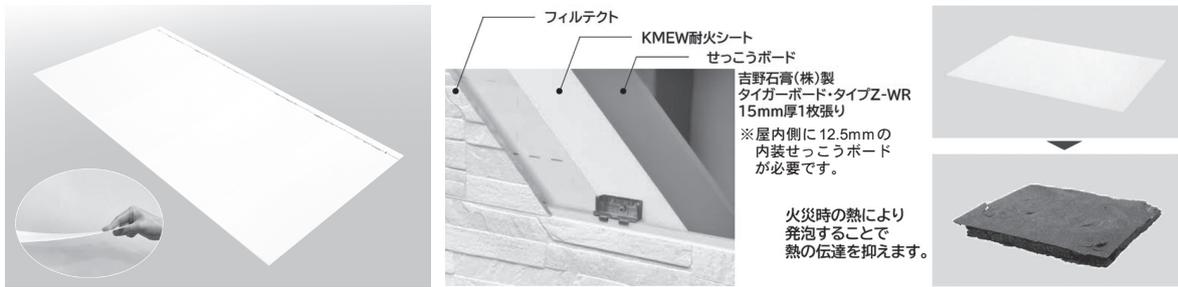
【プロデューサー】ケイミュー株式会社 執行役員 藤田 新次

【ディレクター】ケイミュー株式会社 商品企画・技術開発部 森 周一、渡邊 宏

【デザイナー】ケイミュー株式会社 商品企画・技術開発部 堤 靖浩、常俊 淳次、野田 剣一、坂東 薫
外壁材開発部 福山 友理

【審査委員の評価】法規的に必須となる都市部の住宅建築における「耐火構造」をクリアするには石膏ボード2枚張りが一般的だったが、その石膏ボードを簡易で軽量のシート素材に置き換えるという画期的な提案だと感じた。20kgの石膏ボードを1.6kgのシートにすることで、簡便な施工性、資材管理にメリットがあり、職人の負担軽減、工期の短縮に繋がると考えられる。竣工してしまえば目に見えない建築資材ながら、職人の人手不足解消の一助も期待でき、評価につながった。

【ウェブサイトでの紹介ページ】<https://www.kmew.co.jp/release/kmew231005.html>



【企業名】三協立山株式会社 三協アルミ社

【製品名】カーポート エフツー(FⅡ)

【概要】(業界初の新構造) 梁と屋根の一体デザインにより視点からの梁の存在感を極限まで抑え、住宅外観との調和性を向上。従来型のサイドスクリーンを見直した屋根材とシームレスに繋がる壁型スクリーンはミニマルな建築フォームを実現。柱の外側まで屋根がある水平基調デザインは隣地境界での雨の吹き込みを軽減し、ユーザビリティにも配慮

【デザイナー】三協立山株式会社 三協アルミ社

エクステリア事業部 エクステリア商品開発二課 利根 川勝、山口 洋平、隈元 友樹

エクステリア商品企画課 宮川 鉄平/技術統括室 技術企画部 デザイン課 伊藤 駿

【審査委員の評価】現在の車社会において個人宅のカーポートがその街並みに果たす役割は大きい。多くの都市部や郊外における住宅は、道路、駐車場、住宅の順番に並んでおり、個人宅での敷地内における戸外の活動は制限されることが多い。ここで評価したのは、その形や技術だけではなく、あらかじめ片持ち屋根を支える柱の間を収納として利用することを見込んでいるところである。車がない時には住み手の戸外での活動の場となることをサポートし、住み手の生活感が道路側へしみ出ることによって街並みを変えていける可能性を持っていると考える。



【企業名】タカラスタンダード株式会社

【製品名】キープクリーンフード VRAC

【概要】長い年月にわたって、毎日お使いいただくレンジフードだから。キッチン空間に調和する意匠性と、手間を掛けずにキレイを保つことができる清掃性を両立しつつ、さまざまな「煩わしい」を排除することによって、当社独自のレンジフード。

【デザイナー】タカラスタンダード株式会社

研究開発本部 開発部 亀田 雄史

【審査委員の評価】内部シロッコファンや、オイル受け、整流板はもとより、外装もホーロー製とすることで、清掃性を大幅にアップさせるとともにそれが高い質感に繋がっている点を評価したい。また、レンジフードのパネル接合部などのリベットやビスを極力廃したことも非常に高い質感に寄与している。

通常、レンジフードはステンレス製が多かったが、油シミやキズが問題で、ホーローのフードという新たな選択が生まれたことを歓迎したい。

【ウェブサイトでの紹介ページ】https://www.takara-standard.co.jp/product/system_kitchen/range_food/vrac.html



【企業名】立川ブラインド工業株式会社

【製品名】調光ロールスクリーン ルミエ／ホームタコス ルミエ

【概要】フランス語で“光”を意味する「ルミエール」より命名された「ルミエ」は、採光した時の柔らかく、美しい透過光が魅力の調光ロールスクリーンです。

2枚のレースの間にドレープを配し、ドレープ部をブラインドのように回転できる仕様とすることで、採光や眺望を自由にコントロールできる機能性を実現しました。レースがあることで、プライバシーを守りながら日射しをやわらげて、やさしい光をお部屋に採り入れることができます。

ロールスクリーン本来のコンパクトな納まりを活かすため、生地巻取り部を隠すカバーを標準搭載し、巻き上げた際にボトムレースが隠れる設計にもこだわりました。手動のチェーン操作に加え、リモコンやスイッチで簡単＆スマートに操作できる電動の「スマートインテリアシェード ホームタコス」にも対応しており、シーンやライフスタイルに合わせてピッタリの操作方法をお選びいただけます。

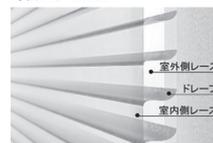
【審査委員の評価】ブラインドのように羽根が回転することによる調光機能をもったロールスクリーン。従来のロールスクリーンでは開閉のみの機能しかなかったが、スクリーン(レース)を2重にし、その間にはしご状に羽根(ドレープ)を渡し、前後のスクリーンをずらすことによって羽根が回転する。

ブラインドが生む鋭利な影ではなくスクリーンの生む柔らかい影が無段階に調節できるのが魅力だと感じた。今後のバリエーションにも期待したい。

【ウェブサイトでの紹介ページ】<https://www.blind.co.jp/news/details/245>



採光するとき



光や視線を遮るとき



【企業名】トクラス株式会社

【製品名】キッチン扉「リュッケファープ」

【概要】リュッケファープは人造大理石と塗装の融合により生み出された堅牢で高質感なキッチン扉です。人造大理石キッチンカウンター製造時に排出される端材を粉末にして塗料に混ぜることにより、キッチン扉に求められる耐久性を得ると共に、多様化するインテリアにフィットする意匠性と資源の有効活用を実現しました。

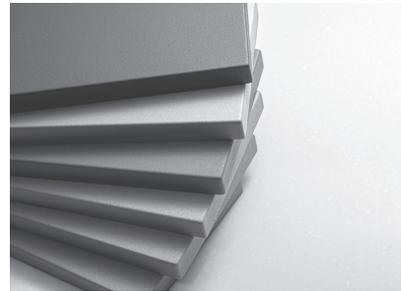
【デザイナー】トクラス株式会社

デザイン担当 柴谷 将史、両林 由希子

技術開発担当 佐藤 宏、佐野 剛志、紺野 良文 + トクラスプロダクツ株式会社 今泉 勝裕

【審査委員の評価】人造大理石と塗装を組み合わせた耐久性と美しさを備えたキッチン扉である。特徴は人造大理石のキッチンの製造時に出る端材を粉末にして塗料に混ぜることで、高い耐久性を実現し長く美しい状態を保つことが可能となった点である。社内リソースとしての手吹き塗装技術を活用し、小口4面を塗り包む事で水に強く傷にも強い特性を持っている。素材を見直し廃材活用することで廃棄物削減を通じた環境への貢献を実現したことはもとより、高耐久性も実現をしたサステイナブルな取り組みであることが高く評価された。

【ウェブサイトでの紹介ページ】<https://www.toclas.co.jp/news/20231005/>



【企業名】トソー株式会社

【製品名】レガートユニ

【概要】レガートユニは、シンプルな空間に馴染みカーテンを引き立てる、脇役に徹したカーテンレールです。スムーズで静かな開閉、光漏れを防ぐ遮光性、熱の出入りを軽減する省エネ性、天井際への取付け方法、カーテンをスッキリまとめる機能など、様々な工夫が詰まっています。毎日の無意識の行動を心地よくすることで、暮らしを窓辺から快適にします。

【プロデューサー】トソー株式会社 商品開発室 橋本 いつか

【ディレクター】トソー株式会社 商品開発室 犬東 和也

【デザイナー】トソー株式会社 商品設計室 小笠原 智

【審査委員の評価】近年窓周りの枠形状が多様化するなか、カーテンボックスが設置されていないケースも多く、その場合、カーテンレールを露出で取り付ける方法が一般的だったが、露出ながらもフレーム形状を再検討することで、シンプルなインテリアプロダクトとして提案したと理解した。露出のカーテンレールを窓枠の一部としてではなく、壁、あるいは天井に紐づくものとして発想を転換したことが評価につながった。また、同じ部屋内でもカーテンのみではなく、ロールスクリーンやブラインドと併存する可能性があり、こういった主張しないデザインは有用だと感じた。

【ウェブサイトでの紹介ページ】https://www.toso.co.jp/products/c_rail/



【企業名】株式会社ノーリツ

【製品名】ガスビルトインコンロ「Orche(オルシェ)」

【概要】調理中の鍋底温度を操作パネルに表示する独自の「温度クック機能」を搭載し、経験に頼ることなく安定した調理を可能にするガスビルトインコンロ

【デザインのポイント】

- ①ガラス面を極限まで広げたトッププレートと、対面キッチンへの設置も想定した、背面から見ても美しいデザイン
- ②炎の旋回設計、小径化により熱効率を向上、省エネ基準達成率 101%を実現した「スマートエコバーナー」を搭載
- ③水だけで汚れを浮かせて落とせる親水アクアコートを採用し、簡単なお手入れでキレイを保てる

【審査委員の評価】非常にシンプルでエレガントな外観のガスコンロ。視覚的な要素はシンプルなスクエアとラウンドだけだが、ガラス製トッププレート、コンロの位置、放熱カバーや操作パネルなど、部材間のピッチが大変適切。ガラストッププレートのカラーには従来のブラックをやめ、よりテクノロジー感あふれるメタリックシルバーを採用している。プッシュすると飛び出す点火ダイヤルボタンと折りたたみ式の温度調節スイッチには、製品使用時のクリック感を引き上げ、掃除頻度を引き下げたいというデザイナーの思いが込められている。また、ごとのデザインには金属の軽量化と曲げ加工技術が採用されており、お手入れが簡単になるだけでなく、テクノロジー感も際立たせている。

【ウェブサイトでの紹介ページ】<https://www.noritz.co.jp/product/kitchen01/builtin/orche.html>



【企業名】パナソニックハウジングソリューションズ株式会社

【製品名】Panasonic 不燃軽量天井材 エアライト

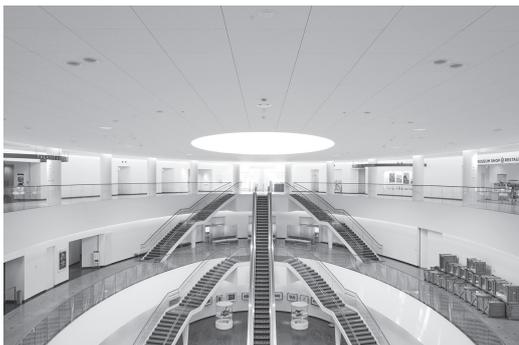
【概要】一般公共施設を使う全ての人に安全を提供できる、非常に軽量の天井材です。地震や建物の老朽化に伴う災害の際も落下しにくく、万が一落下しても被害を軽減します。独自技術による軽さ・不燃性・耐水性を実現したことで、設計者、施工者にとっても工数負担を抑えながら様々な建築空間に使用することができます。

【デザイナー】パナソニックハウジングソリューションズ株式会社

デザイン・コミュニケーションセンター 上本 哲司、清水 沙織

【審査委員の評価】震災時に天井材が崩落している写真を多く見てきた。建物が大きく揺れた時にどうしても天井材のように吊られている弱い部分に歪みが出る。この商品を実際に持ってみたら驚くほど軽くて、仮に落下して体にあたって大きな怪我につながる可能性は減っていると思う。また、その軽さゆえに施工の負担も少ない。また意匠面に留意してジョイントのパーツをがあるところ、塗料のバリエーションや化粧シートのバリエーションがあるのも評価できる。

【ウェブサイトでの紹介ページ】<https://sumai.panasonic.jp/public/products/airylight/index.html>



「福井県立恐竜博物館」

「特定天井」に該当せずに、設計できる不燃軽量天井材

エアライト

AiryLight



「東京都 中央区庁舎」



「愛知県 株ヤマガタ様 本社ビル」

【企業名】株式会社日立ビルシステム

【製品名】アーバンエース HF Plus

【概要】「アーバンエース HF Plus」は、2023年4月に販売開始した標準型エレベーターで、乗り場の意匠デザインのバリエーションを拡充し、多様な建築意匠との調和をめざしたほか、乗りかご内の壁・床を傷などから保護する「デザインパネル」および「デザインマット」の意匠性をさらに高めることで、利用者に快適な移動空間を提供します。機能面では、昇降路内の制御盤・巻上機を原則として頂部に配置し、冠水リスクの低減を図るとともに、電気自動車からの給電で停電時のエレベーター利用を可能にする「V2Xシステム」に対応。さらに、顔認証でエントランス入場とエレベーターの移動をタッチレスで行える「ダブルセキュリティ」、エレベーター法定検査アラート機能など、安全・安心・快適を提供するデジタル機能を強化しています。

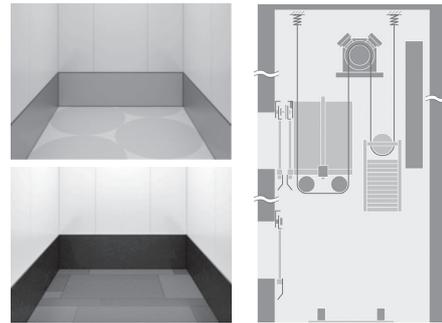


【デザイナー】NAOTO FUKASAWA DESIGN 深澤 直人

株式会社日立製作所 研究開発グループ

デザインセンタ UXデザイン部 小町 章

【審査委員の評価】様々な規模や意匠の建物に柔軟に対応するべく拡張した機能の細部にわたって配慮がなされており、すべてにおいて隙の無いデザインである。かご内側板や床マットに至るまで選択の幅を広げているが、どの組み合わせを行ってもデザインの世界観は崩れてない。特にこれまで見て見ぬふりをしてきた後付けの保護マットにも選択の幅を広げる着眼点は素晴らしい。意匠性の高さだけでなく、容易に着脱できる利便性も高く評価した。



【ウェブサイトでの紹介ページ】<https://www.hbs.co.jp/products/elevator/new/standard/ua/>

【企業名】美和ロック株式会社

【製品名】WR シリンダー

【概要】「WR シリンダー」は、新しい刻み「リッジカット」の採用で従来よりも防犯性が高いシリンダーとキーです。高い加工精度が必要なため第三者による不正な合鍵入手を防止でき、高い耐ピッキング性能があり、塵埃も付きにくく耐久性も高い。キーは表裏どちら向きでも挿せるリバーシブル機能を持つ次世代のキーです。



【デザイナー】デザイングループ 主任 福田 雅史

【審査委員の評価】「WR シリンダー」は、高い防犯性で安心感を提供する新たなシリンダーとキーである。このキーには二つの大きな特徴がある。一つ目は山の尾根のような稜線が走るリッジカットと呼ばれる新たな刻み方。不正な合鍵製作を防ぎ、耐ピッキング性能が高く、耐久性も優れているという。もう一つはどちら向きでも挿せるリバーシブル機能を備えたユニバーサルなデザインであること。これにより塵埃が付きにくくなるため、耐塵性能が向上し、キー操作の不調を減少させる形状となった。鍵の世界も電子化が進んでいるが、物理的快適性の提供、不具合によるストレス軽減といった視点はセキュリティの老舗ならではの、今もなお進化し続けている点を応援したい。

【ウェブサイトでの紹介ページ】<https://www.miwa-lock.co.jp/tec/products/webcatalog.html>